

学校法人鈴峯学園
鈴峯女子短期大学
機関別評価結果

平成 27 年 3 月 12 日
一般財団法人短期大学基準協会

鈴峯女子短期大学の概要

設置者	学校法人 鈴峯学園
理事長	梶田 慎二
学 長	朝倉 尚
A L O	大森 彰人
開設年月日	昭和 25 年 4 月 1 日
所在地	広島県広島市西区井口四丁目 6-18

設置学科及び入学定員（募集停止を除く）

学科	専攻	入学定員
食物栄養学科		100
保育学科		100
キャリア創造学科		50
	合計	250

専攻科及び入学定員（募集停止を除く）

専攻科	専攻	入学定員
専攻科	栄養専攻	10
	合計	10

通信教育及び入学定員（募集停止を除く）

なし

機関別評価結果

鈴峯女子短期大学は、本協会が定める短期大学評価基準を満たしていることから、平成27年3月12日付で適格と認める。

機関別評価結果の事由

1. 総評

平成25年7月16日付で当該短期大学からの申請を受け、本協会は第三者評価を行ったところであるが、評価の結果、当該短期大学は、自らの掲げる教育理念の実現及び教育目標の達成に向けて順調に進捗しており、本協会が定める短期大学評価基準を満たしていると判断した。

上記の判断に至った事由は、おおよそ次のとおりである。

当該短期大学は「報恩感謝・実践」という建学の精神の下、明確な教育理念を掲げ、地域の実務者養成を担う高等教育機関としての役割を果たしている。建学の精神は、入学式等における理事長・学長式辞により学内の共有化が図られ、ウェブサイト等で学内外に表明されている。建学の精神に基づいた当該短期大学及び各学科の教育目的は学則に明示され、学生が目指すべき人物像、社会人像が明確に示されている。

学習成果を、建学の精神及び教育目的を受けた学位授与の方針と定め、学生便覧等により学内外に表明している。学習成果を質的・量的に測定するため、学位授与の方針に対応した教育課程を体系的に編成し、各授業科目の到達目標との対応がなされている。教育研究の質の向上を図り、教育目的及び社会的使命を達成するために自己点検・評価委員会が組織され、点検・評価結果をまとめた「行動計画実施結果報告書」を基にPDCAサイクルが機能している。

学位授与の方針及び卒業要件を学則に示すとともに、教育課程編成・実施の方針は、学生便覧に明示されており、シラバスは、ウェブサイト上で閲覧できるようになっている。入学者受け入れの方針は、入学後に必要とされる具体的な能力や適性が学生募集要項等に明示されている。学習成果は、授業科目の成績評価及び免許・資格の取得により評価されている。また、達成状況の把握は、就職先への「卒業生に関するアンケート」調査、教員への「学生による個別授業アンケート」等によりなされている。これらの結果を基に授業改善等、教育の質の向上・充実が図られている。

教員は学位授与の方針に対応した学習成果を成績評価により把握し、「学生による個別授業アンケート」結果やFD活動を通して授業改善に取り組み、学習成果の獲得を支援している。事務職員は、日常の業務やSD委員会での情報共有を通して、教員と連携を図り、学習成果の獲得への責任を果たしている。

学習の動機付けとして、学生が自ら計画的に学習成果を獲得するため、期末ごとに達成度を自己評価するワークシート「学びのカルテ」を全学的に導入している。学生自治会が組織され、主体的に運営されている。特に「似島学園一日お姉さん」（児童養護施設の運動

会への参加)の取り組みは、58年間にわたり継続して行われている。

また、学生の就職支援を目的とした就職委員会が設けられ、就職課が日常的な就職活動を支援している。文部科学省採択の地域と連携した人材育成「ベルキャリアコラボレーションの創成」、「産業界等との連携による中国・四国地域人材育成事業」を基にした「ベルキャリアプログラム」により、「社会につながる力」の育成が行われている。特に就業力の育成のため、学生は「鈴かふえ」、「出前保育」などのサービスラーニングに主体的に取り組んでいる。

建学の精神に基づく使命・目的を実現するため、短期大学設置基準を満たす適正な教員組織と事務組織が編成されている。教育研究目的を達成するための必要な施設設備は、各学科の教育課程編成・実施の方針に基づき整備され、適切に維持管理されており、校地・校舎は短期大学設置基準を充足している。

資金収支及び消費収支は、学校法人全体・短期大学部門とも均衡を保っている。「鈴峯学園第三期構造改革プラン」(平成25年度から5か年)が策定されているが、法人合併により平成28年度以降に発展的に改組されることが決定している。

理事長は、建学の精神「報恩感謝・実践」及び、これを受けた明確な教育目標の下、地域社会への貢献を掲げて学園の運営に努め、学校法人を代表して学校法人の業務を総理し、理事会を開催し、適切に運営している。学長は、建学の精神に基づく教育研究を推進し、教授会を開催し、適切に運営しており、地域貢献活動も率先して行っている。

監事は、学校法人の業務及び財産の状況についての監査機能の役割を果たし、評議員会は、理事長の諮問機関として機能している。学校教育法施行規則、私立学校法に基づき、教育情報・財務情報を公開するなど、学校法人のガバナンスは、適切に機能している。

2. 三つの意見

本協会の評価のねらいは、短期大学教育の継続的な質保証を図り、短期大学の主体的な改革・改善を支援することにある。そのため、本協会では、短期大学評価基準に従って判定される前述の「機関別評価結果」や後述の「基準別評価結果」に加えて、当該短期大学の個性を尊重し、その向上・充実を図る観点から以下の見解を持つ。

(1) 特に優れた試みと評価できる事項

本協会は当該短期大学の以下の事項について、高等教育機関として短期大学が有すべき水準に照らし、優れた成果をあげている試みや特長的な試みと考える。

基準Ⅰ 建学の精神と教育の効果

[テーマB 教育の効果]

- 学生が自ら計画的に学習成果を獲得するため、目標を設定し(P)、活動を行い(D)、学期末に振り返り(C)、次の学期の目標設定(A)というワークシート「学びのカルテ」が全学的に導入されている。

基準Ⅱ 教育課程と学生支援

[テーマ B 学生支援]

- 学生自治会が組織され、主体的に運営されている。特に、学生自治会が参加学生の募集、事前説明、当日の運営等を行っている児童養護施設でのボランティア交流会である「似島学園一日お姉さん」は、58年間にわたり継続している。
- 文部科学省採択の地域と連携した人材育成「ベルキャリアコラボレーションの創成」、「産業界等との連携による中国・四国地域人材育成事業」を基にした「ベルキャリアプログラム」により、「社会につながる力」の育成が行われている。特に学生は、主体的に「鈴かふえ」、「こどもお菓子くらぶ」、「出前保育」などのサービスラーニングに取り組み、就業力の育成に努めている。

基準Ⅲ 教育資源と財的資源

[テーマ A 人的資源]

- 専任教員の科学研究費補助金及び外部資金による研究費の採択率が高い。特に、科学研究費補助金においては、平成 24 年度に 7 件、平成 25 年度に 6 件採択されており、研究活動が活発に行われている。

(2) 向上・充実のための課題

本協会は以下に示す事項について、当該短期大学が改善を図り、その教育研究活動などの更なる向上・充実に努めることを期待する。なお、本欄の記載事項は、各基準の評価結果（合・否）と連動するものではない。

基準Ⅲ 教育資源と財的資源

[テーマ B 物的資源]

- 消火訓練などの災害対策は講じているが、火災・地震対策、防犯対策のための諸規則を整備することが望まれる。

(3) 早急に改善を要すると判断される事項

以下に示す事項は、問題・課題などが深刻であり、速やかな対応が望まれる。

なし

3. 基準別評価結果

以下に、各基準の評価結果（合・否）及び当該基準を合又は否と判定するに至った事由を示す。

基準	評価結果
基準Ⅰ 建学の精神と教育の効果	合
基準Ⅱ 教育課程と学生支援	合
基準Ⅲ 教育資源と財的資源	合
基準Ⅳ リーダーシップとガバナンス	合

各基準の評価

基準Ⅰ 建学の精神と教育の効果

当該短期大学は「報恩感謝・実践」という建学の精神の下、明確な教育理念として「建学の精神『報恩感謝・実践』に基づく人づくり」、「実践的な専門教育を重視した大学づくり」、「地域社会に貢献できる大学づくり」を掲げている。この建学の精神は、入学式や卒業式等での理事長・学長式辞により学内において共有化が図られ、学生便覧、ウェブサイト等で学内外に表明されている。

建学の精神に基づいた短期大学及び各学科の教育目的は、学則に明示され、学生が目指すべき人物像、社会人像が明確に示されている。これら教育目的は、各学科・各コースの学位授与の方針の基盤となっており、学生便覧に明記され、オリエンテーションにおいて学生への周知がなされ、ウェブサイト等により学内外に表明されている。教育目的は、教育研究委員会で定期的に点検され、教授会で審議されている。

学習成果を、建学の精神及び教育目的を受けて定めた学位授与の方針と捉え、学生便覧、ウェブサイト等により学内外に表明している。学習成果を質的・量的データとして測定するために、学位授与の方針に対応した教育課程を体系的に編成し、各授業科目の到達目標と対応させている。学習成果は、授業科目の成績評価及び免許・資格の取得により評価されている。また、学生が自らの学習成果を評価できるシステムが、ワークシート「学びのカルテ」により構築されている。学位授与の方針は、教育研究委員会で定期的に点検され、教授会で審議されている。

学習成果としての学位授与の方針の達成状況の把握は、就職先への「卒業生に関するアンケート」調査、教員への「学生による個別授業アンケート」等によりなされている。これらの結果を基に授業改善等教育の質の向上・充実が図られている。

教育研究の質の向上を図り、教育目的及び社会的使命を達成するために自己点検・評価委員会が組織され、教育研究活動の成果が点検・評価されている。「事業計画」を基に各センター・各学科の「行動計画」作成（P）、計画の実践（D）、点検・評価結果の「行動計画実施結果報告書」作成（C）、そして次年度「行動計画」作成（A）がなされており、PDCAサイクルが確立している。

基準Ⅱ 教育課程と学生支援

各学科・各コースの学位授与の方針及び卒業要件、成績評価の基準、資格取得の要件は学生便覧に明確に示されている。

教育課程編成・実施の方針は、学習成果として捉えている学位授与の方針に対応して学科・コースごとに定められ、学生便覧に明示されている。全授業科目は、教育課程編成・実施の方針に従い体系的に編成され、各授業科目の学習成果は、学位授与の方針と明確な対応がある。シラバスは、必要項目が記載されウェブサイト上で閲覧できるようになっている。

入学者受け入れの方針は、入学後に必要とされる能力や適性を受験者自身が事前に判断できる具体的なものであり、学生募集要項等を通じて示し、オープンキャンパス等において説明を行っている。

学習成果の達成状況は、授業科目の成績評価と資格・免許の取得率から測定、評価されている。学生の卒業後の評価は、就職先に対する「卒業生に関するアンケート」調査を実施しており、その結果は教授会で公表され、教育改善に役立てられている。

教員は、学位授与の方針に対応した学習成果を成績評価により把握し、「学生による個別授業アンケート」結果やFD活動を通して授業改善に取り組んでいる。事務職員は日常の業務やSD委員会での情報共有を通して、教員と連携を図りながら学習成果の獲得に向けての責任を果たしている。

学習の動機付けとして、「学びのカルテ」システムが成果をあげている。これは、学生が自ら計画的に学習成果を獲得するため、期末ごとに達成度を自己評価するワークシート「学びのカルテ」を全学的に導入したものである。学生自治会が組織され、主体的に運営されており、「似島学園一日お姉さん」（児童養護施設の運動会への参加）の取り組みは58年にわたり継続されている。

就職委員会が設けられ、就職課が日常的な就職活動を支援している。文部科学省の平成22年度「大学生の就業力育成支援事業」に採択された、地域と連携した人材育成「ベルキャリアコラボレーションの創成」、さらに平成24年度「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」に採択された「産業界等との連携による中国・四国地域人材育成事業」を基にしたベルキャリアプログラムにより、「社会につながる力」の育成が行われている。特に就業力の育成のため、学生は「鈴かふえ」、「出前保育」などのサービスラーニングに主体的に取り組んでいる。

入学者受け入れの方針は、キャンパスガイド、学生募集要項等に明示されている。入試は、多様な選抜の機会を設けている。入学者には、ガイダンスと2年生が企画する1泊2日の「野外オリエンテーションセミナー」が実施されている。

基準Ⅲ 教育資源と財的資源

建学の精神に基づく使命・目的を実現するため、短期大学設置基準を満たす適正な教員組織を編成し、規程に基づく研究費、研究日等を付与し、研究活動の支援体制を整備している。平成25年度科学研究費補助金獲得が6件と高い採択率を有している。また、FD委員会を構成し、自己点検・評価を組織的に行うなど、教員の資質向上を目指している。事務組織は、必要な人員を配置の下、各種の規程・規則に沿って業務を行っている。SD委

員会を組織し、情報を共有することで、事務処理の改善に努めている。「鈴峯学園就業規則」、「鈴峯学園給与規程」等、教職員の就業に関する諸規程は、整備されている。

校地・校舎は短期大学設置基準を充足し、教育研究目的を達成するために必要な施設設備は、学科の教育課程編成・実施の方針に基づき整備され、適切に維持管理されている。図書館には、必要な蔵書数、学術雑誌数が備わっている。バリアフリー環境は、大半の授業が行われる A 棟を中心にエレベーター、障がい者トイレ、車椅子での移動が可能なスロープ、階段に手すりを設置するなど配慮されている。

「鈴峯学園経理規程」、「鈴峯学園経理規程施行細則」及び「鈴峯学園修繕費支出及び資本的支出に関する取扱い要領」に従い施設設備、資産、消耗品及び備品等を適切に維持管理している。火災・地震対策、防犯対策のための諸規則が整備されていないが、消火訓練などの災害対策を講じている。防犯対策は、人的警備と機械的警備とを使用した防犯体制を整えとともに、緊急時の連絡体制を周知し、安全管理を行っている。また、空調の集中管理、地下水を利用したトイレ、ゴミの分別回収など省エネルギー・省資源対策、その他地球環境保全への配慮がなされている。

短期大学全体の収容定員充足率は低いが、資金収支及び消費収支は、学校法人全体・短期大学部門とも均衡を保っている。教育研究経費は安定しており、学生の教育に必要な経費の支出は適切である。

「鈴峯学園第三期構造改革プラン」(平成 24 年 10 月策定、平成 25 年度～29 年度)は、教育内容、教育環境整備、財務の三つの計画的な統合プランであり、量的な経営判断指標等に基づいて実態を把握し、財政上の安定を確保するよう策定されている。なお、法人合併により平成 28 年度以降に発展的に改組されることが決定している。当該短期大学の自己点検・評価報告書に課題として記述されている合併後の事業計画、財政計画の作成を「合併推進協議会」で推進されたい。

基準Ⅳ リーダーシップとガバナンス

理事長は、建学の精神「報恩感謝・実践」及び、これを受けた明確な教育目標の下、有能な女子教育機関として地域社会への貢献を掲げて学園の運営に努め、学校法人を代表して業務を総理している。また、「学校法人鈴峯学園寄附行為」に基づき理事会を開催し、学校法人の意思決定機関の運営を適切に行っている。理事会は、建学の精神に基づき業務を決し、理事の職務の執行を監督している。

学長は、建学の精神に基づく教育研究を推進し、地域貢献活動を率先して行うなど、短期大学の向上・充実、振興に努めている。学長は「鈴峯女子短期大学学長候補者選考規程」に基づき理事会において選任され、「鈴峯女子短期大学教授会規程」に従って教授会を開催し、議長となり、審議機関としての教授会を適切に運営している。また、学長の下に教育上の委員会等を置き、教学運営の職務遂行に努め、短期大学の運営全般にリーダーシップを発揮している。学習成果及び三つの方針に関しては教育研究委員会で審議したものを教授会に諮っており、教授会は、各学科が公表する学習成果及び三つの方針に対する認識を有している。

監事は、理事会及び評議員会に出席し、学校法人の業務及び財産の状況について適切に

監査している。毎会計年度、監査報告書を作成して当該会計年度終了後 2 月以内に理事会及び評議員会に提出し、学園の監査機能の役割を果たしている。評議員会は、理事の定数の 2 倍を超える評議員で組織され、理事長の諮問機関として機能し、運営されている。学校法人は、「鈴峯学園第三期構造改革プラン」（平成 24 年 10 月策定、平成 25 年度～29 年度）に基づいて、経営基盤の安定を図っており、日常的な出納業務も諸規程に基づき円滑に行われている。監事と公認会計士との連携の下、会計処理は、学校法人会計基準等に基づき適切に行われている。また、学校教育法施行規則、私立学校法に基づき、教育情報及び財務情報を公表するなど、学校法人のガバナンスは、適切に機能している。

選択的評価結果

本協会は、短期大学の個性を伸長させることを目的として、「教養教育の取り組み」、「職業教育の取り組み」、「地域貢献の取り組み」という三つの選択的評価基準を設けている。これらの三つの取り組みは4基準にも含まれているが、各短期大学の取り組みの特色がより鮮明になるよう、4基準とは別に設定した。

選択的評価は個々の短期大学の希望に応じて実施し、課外活動も含め、それぞれの独自性が一層発揮されるよう当該短期大学の取り組みの達成状況等について評価を行った。

職業教育の取り組みについて

総評

当該短期大学における職業教育は、ともに文部科学省に採択された「ベルキャリアコラボレーションの創成」及びそれを継続した「産業界との連携による中国・四国地域人材育成事業」を柱として実践されている。これらの取り組みの中核をなす「社会につながる力」は「基礎学力」、「専門的知識・技能」、「基本的マナー」、「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」の六つの要素を基本とする総合力であるとし、これを育てるために地域と連携・協働しながらキャリア形成を支援すると定め、学生便覧等に明示している。

入学予定者に対して、論理的思考力の向上を目指した「1日10分言語力ドリル」や専門教育を学ぶ準備のための模擬授業の受講と事後レポート等を課し、全学的な入学前指導を行うことで職業教育と後期中等教育との円滑な接続を図っている。

取得できる資格・免許及びそのために必要な授業科目は学生便覧に明示されている。就職先のアンケート調査より求められているものを把握した上で、基礎科目「キャリア教育」の授業、就職課による「就職対策講座」を実施しており、職業教育の内容と体制が確立している。

オープンカレッジを開講し、必要な分野に関する学び直しの機会を提供している。また、広く社会人に門戸を開くため、社会人特別選抜入学試験制度を実施している。さらに、当該短期大学附属中学校・高等学校と短期大学の卒業生を対象とした社会人特別奨学金制度を設けた。

資格・免許取得授業の担当教員は、文部科学省、厚生労働省の認定を受け、担当分野の学会・研究会等に積極的に参加し、日常的に資質向上に努めている。またキャリア教育に関係する教員は、実践講習会等によりそのスキル向上に努めている。

職業教育の効果は、各種国家資格取得割合、資格を生かした就職状況、就職先への「卒業生に関するアンケート」調査等により測定・評価している。これらの結果は、全教員にフィードバックされ、教育改善に生かされている。

当該短期大学の特色が表れている取り組み

- キャリアアップのため、平成22年度に「社会につながる力」を柱とした文部科学省採択事業「ベルキャリアコラボレーションの創成」を実施し、平成24年度からは、こ

れを「産業界との連携による中国・四国地域人材育成事業」として継続して取り組んでいる。

- 基礎科目区分の基礎教養科目の一つとして全学生対象の「キャリア教育」を設置し、働くことの意義、職業選択、就職に向けての意識改革、スキルアップについての授業を開講している。
- 社会人に広く門戸を開き、当該短期大学附属中学校・高等学校と短期大学の卒業生対象の社会人特別奨学金制度を設けたことにより成果をあげている。
- 18 大学・短期大学合同の「アンケート調査」や就職先への「卒業生に関するアンケート」調査を基に、求められる就業力を明確にした上で、その育成を目指す「キャリア創造学科」を平成 26 年度に新設した。

地域貢献の取り組みについて

総評

当該短期大学は、長年蓄積してきた教育及び研究の知的財産を地域に還元し、地域とともに共生できる教育機関を目指し、「報恩感謝・実践」の建学の精神に基づく地域貢献のために、「鈴峯地域連携公開講座」及びオープンカレッジなどを実施している。

「鈴峯地域連携公開講座」は、近隣の公民館と共催し、教員が実施している公開講座である。オープンカレッジは、社会人対象の「生涯学習講座」と正規授業を開放する「学生とともに学ぶ講座」の 2 講座がある。多くの受講生を集めている「生涯学習講座」は、外部講師への依存率が高いが、今年度から専任教員と非常勤教員のみで開講する改善計画を立てている。

当該短期大学は、広島県や広島市の行政、その他の機関・団体と連携して、地域の活性化に取り組んでいる。具体的には、地域の活性化に寄与することを目指すプログラムとしていずれも文部科学省の「現代的教育ニーズ取組支援プログラム」に採択された「正課と正課外を往還する専門型キャリア教育」、さらには「大学生の就業力育成支援事業」として採択された「ベルキャリアコラボレーションの創生」による就業力育成プログラム、そして「産業界のニーズに対応した教育改善・充実体制整備事業」に採択された「産業界等との連携による中国・四国地域人材育成事業」の実施を通して、地域社会の行政、商工業等と交流活動を行っている。具体的には、保育学科では「出前保育」や「あそびの出前」、子育てイベントへの参加があり、学生の教育に一定の成果をあげている。食物栄養学科では、広島の特産物である広島かきを介して、地域の行政、商工業、教育機関及び文化団体等と交流活動を行っている。食物栄養学科製菓コースでは、地元企業と広島レモンを使用したコラボレーション菓子の開発を行い、また、言語文化情報学科では、地元旅行会社が企画した旅行企画に応募し、採用されるなど、地域交流活動において成果をあげている。

学生は、様々なボランティア活動を通して地域社会に貢献している。特に、「似島学園一日お姉さん」は、58 年の長きにわたる全学的な活動として評価に値する。また、各学科においても多様な活動を展開している。こうした学生の社会的活動に対する評価として、卒業資格に必要な単位には算入されないが、「ボランティア学習」を開講し、単位を認定している。

当該短期大学の特色が表れている取り組み

- 「似島学園一日お姉さん」は 58 年の長きにわたる全学的な活動として非常に成果をあげている。
- 学生の社会的活動に対する評価として教育課程に「ボランティア学習」を開講している。卒業資格に必要な単位には算入されないが、この単位認定には建学の精神を実践する学校側の教育姿勢が表れている。
- 「報恩感謝・実践」の建学の精神に基づいて、長年蓄積してきた教育及び研究の知的財産を地域社会に還元し、地域とともに共生できる教育機関を目指して、①鈴峯地域連携公開講座、②シティカレッジ、③オープンカレッジなど、様々な取り組みを実施している。
- 建学の精神「報恩感謝・実践」を実践するために、地域の力を借りて就業力育成を図ると同時に地域の活性化に貢献することを目指した教育課程を設定している。「似島学園一日お姉さん」、学生による手作りレストラン「鈴かふえ」の運営、「ひとり暮らし高齢者クリスマス会」の開催など、様々なボランティア活動に取り組んでいる。